

**問** ケアラーの将来は

家族のお世話をしている子どもが相談できる人や場所が必要だが、半数以上は学校や大人のサポートが特に必要ないとの回答である。教員を主軸とする時代ではないと考える。多世代やITによる新コミュニティ等でケアラー支援や啓発ができる体制・場の提供を。

**答** 相談しやすい体制づくりを推進する

ヤングケアラーが相談しやすい体制づくりとして、児童館や新設保育所内での居場所づくりを検討する。また、市内の小中学校を通じ、電話相談やSNS等の相談窓口について、リーフレットを配布し、周知・啓発に努め、ヤングケアラーを支援していく。



黒須大一郎 議員  
(白和)



大山小学校

**問** 市長は大山小学校を2年で廃校というが

公共施設統合再編実施計画も学校再編基本計画も未策定の中、市長は大山小学校を2年で廃校と考えている。学校は重要な地域インフラであり、廃校だけでない手順があるはずだ。2年前に小規模特認校にしたばかりで工夫も努力もない中、廃校とはどういうことか。

**答** 児童のことを考え統廃合を進めていく

大山小学校の児童数減少には、以前から問題意識を持っていた。今後更に減少していくことを考え、早く統廃合する必要があると判断した。2年以内に実現したいという希望がある。地元の意見を伺いながら、児童のためにどうすることが良いかということを考えたい。

**問** マンション管理適正化推進計画の作成を

改正マンション適正化法が公布され、マンション管理適正化推進計画及び管理計画認定制度が4年4月から開始された。推進計画の作成及び管理計画認定制度を開始する予定はあるか。

**答** 推進計画を作成し認定制度を開始する

推進計画は、今年度中に作成し、管理計画認定制度は翌年度から開始できるようマンション管理組合にアンケート調査を依頼し、準備を進めているところである。



尾嶋一雄 議員  
(TSUNAGU)



**問** 学校体育施設のAEDを屋外にも設置

施錠されている校舎内の職員室等に設置されているAEDを校庭利用団体が活動時に使用する場合、ガラスを割って使用することになっているが、運用面で多くの問題がある。各学校に1か所屋外にもAEDを設置してはどうか。

**答** AEDの利用環境の改善を図っていく

盗難やいたずら等のリスクがあることから、現状では屋外へのAEDの設置は難しい。今後は緊急時に安全にAEDを利用しただくため、施錠のできる用具庫等に緊急用のハンマーを備え付けたい。また、救命講習会の周知を図り、利用環境の改善を図っていく。